

日 本 国 特 許 庁

04.03.03

JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 7月19日

25 APR 2003

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-242715

PCT

[ST.10/C]:

[JP 2002-242715]

出 願 人

Applicant(s):

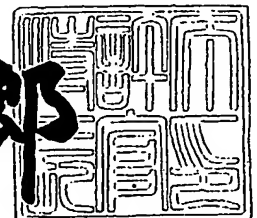
飯塚 孝司

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 4月 8日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



Best Available Copy

出証番号 出証特2003-3024685

【書類名】 特許願

【整理番号】 1404

【提出日】 平成14年 7月19日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明の名称】 ホルダ着脱機構を有する携帯用書見器

【請求項の数】 1

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都中野区南台4-19-12

 【氏名】 飯塚 孝司

【特許出願人】

 【識別番号】 000235244

 【住所又は居所】 東京都中野区南台4-19-12

 【氏名又は名称】 飯塚 孝司

 【電話番号】 03-3383-7630

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ホルダ着脱機構を有する携帯用書見器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本人出願人による特願 2 0 0 2 - 1 7 9 1 9 1 「支持板を有する携帯用書見器」において、支持板 2 の両側面に連続した凹凸歯 1 0 を形成したこと。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【産業上の利用分野】

本発明は、書見器および読書スタンドに関する。

【0 0 0 2】

【従来技術】

本案は、本人出願人による特願 2 0 0 2 - 1 7 9 1 9 1 「支持板を有する携帯用書見器」の用途を拡張するための関連出願である。

【0 0 0 3】

【発明の解決しようとする課題】

特願 2 0 0 2 - 1 7 9 1 9 1 「支持板を有する携帯用書見器」は、テーブルに本の傾斜させて読む、折畳式の携帯用書見器である。

この携帯用書見器は、テーブルの上に置いて使用するもので、パソコンテーブルなどの狭いスペースでは使用しにくいという欠点を持っている。

本案では、この書見器を、ホルダに着脱できるようにして、パソコンテーブルやその支柱などに固定したアームを介して使用することが出来るようにして用途の拡張を実現するものである。

【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

本課題を解決する手段として、支持板 2 の両側面に連続した凹凸歯 1 0 を形成する。一方これを保持するホルダ 1 1 には、書見器に直交する支持板の 4 交点を挟持する爪 1 2 を構成し、各爪には支持板の凹凸歯に噛み合う歯を形成する。

【0 0 0 5】

【作用】

書見台 1 に直交する支持板 2 は、ガイド軸 3 によりガイド溝 5 に沿って上下にスライド可能に構成されているが、直交する 4 交点を支持板の凹凸歯 10 に噛み合う歯を有するホルダ 11 の爪に挟持されることにより、スライドは停止、固定される。従って、ホルダ 11 に装着された書見器においては、載せた本の重さでホルダに直交する支持板 2 が下降することはない。

【0006】

【実施例】

以下図面に基づきその詳細を説明する。

〔図 1〕は、本出願による書見器の正面図である。

支持板 2 の側面には連続した凹凸歯 10 が形成されている。

〔図 2〕は、本出願による書見器の支持板を直交させた平面図である。

〔図 3〕は、本書見器をホルダ 11 に装着した側面図である。

ホルダ 11 の 4 本の爪 12 は、書見台 1 と支持板 2 がクロスする 4 交点を挟持する。爪 12 は、支持板 2 の左右の側面の凹凸歯 10 との噛み合い構造を有している。従って書見台 1 とクロスする支持板 2 は、ホルダ 11 によってスライド不能の状態に固定され、書見台に登載した本の重さで支持板 2 が下方に降りてくることを防止することが出来る。

〔図 4〕は、書見器を挟持するホルダの平面図で、支持板 2 を左右の爪 12 が挟み込んでいる様子を表わしている。

〔図 3〕において、ホルダ 11 は直立する支持棒 13 に装着され、爪 12 は支持棒 13 に対して 15 度ほどの傾斜に設定されている。これは、パソコンラックなどの支柱に固定して使用する時に読みやすい角度であると同時に、ホルダを 180 度反転させて支持棒に装着すれば、ホルダは 15 度の逆傾斜となり、ベットで仰向けになって読む読書スタンドを構成するのに便利な配慮に基づくものである。

【0007】

【発明の効果】

1. ホルダとの組み合わせにより、支柱に取り付けることが可能になるので、パ

ソコンの入力作業の能率向上や、台所のスチールラックにレシピ本をセットして使用するなど、用途拡大に寄与するものである。

2. ホルダとの組み合わせによりベットで寝た状態でも起きた状態でも読書が出来る読書スタンドを構成することが可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】は、本案による書見器の正面図

【図2】は、支持板を直交させた平面図

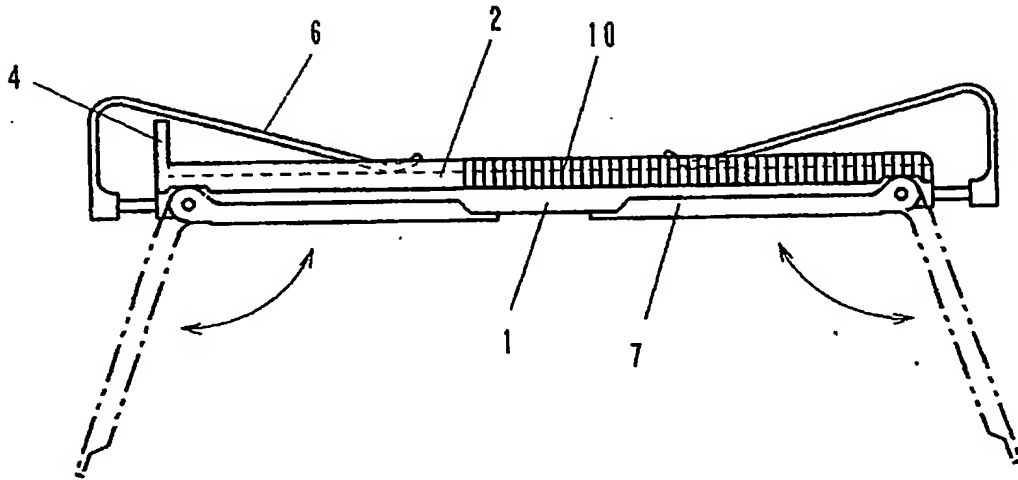
【図3】は、ホルダに装着した側面図

【図4】は、ホルダ平面図

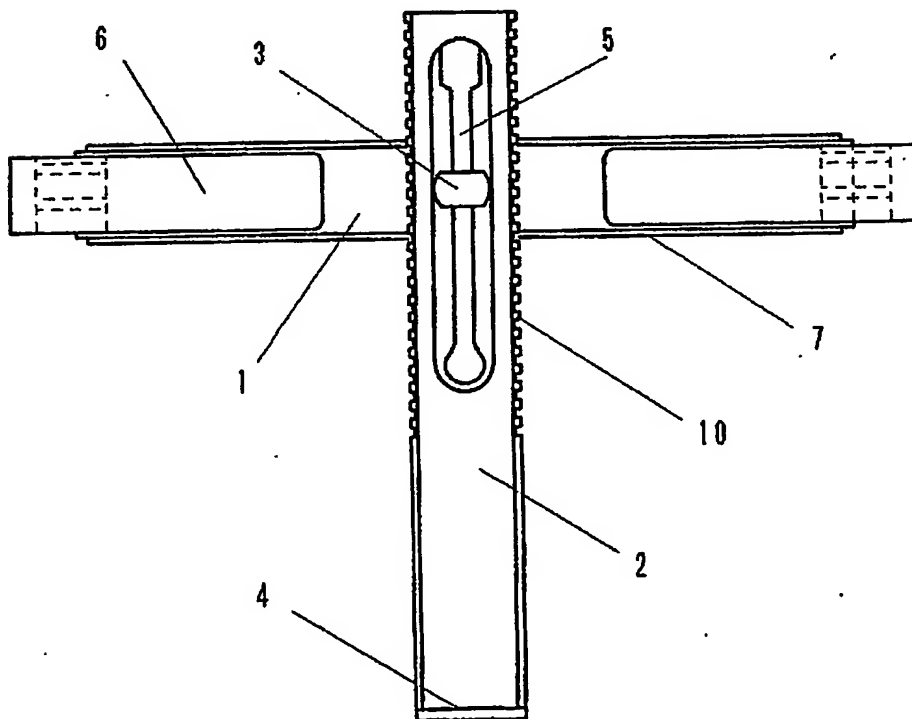
- | | |
|---------|-----------|
| 1. 書見台 | 2. 支持板 |
| 3. ガイド軸 | 4. ストッパー |
| 5. ガイド溝 | 6. ページ押さえ |
| 7. スタンド | 8. 本 |
| 9. テーブル | 10. 凹凸歯 |
| 11. ホルダ | 12. 爪 |
| 13. 支持棒 | |

【書類名】 図面

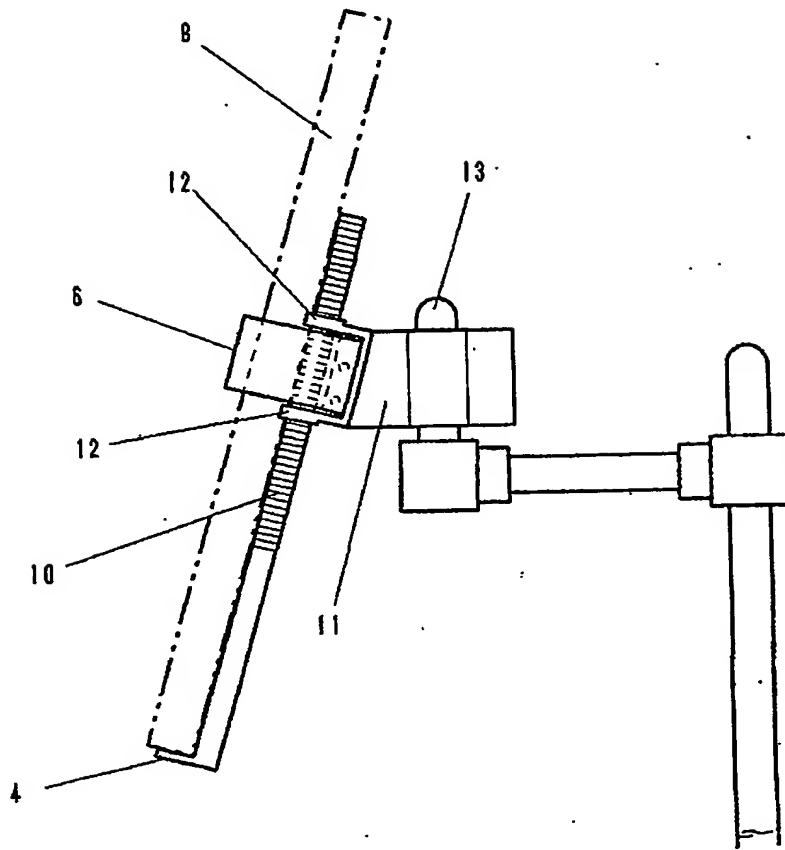
【図1】



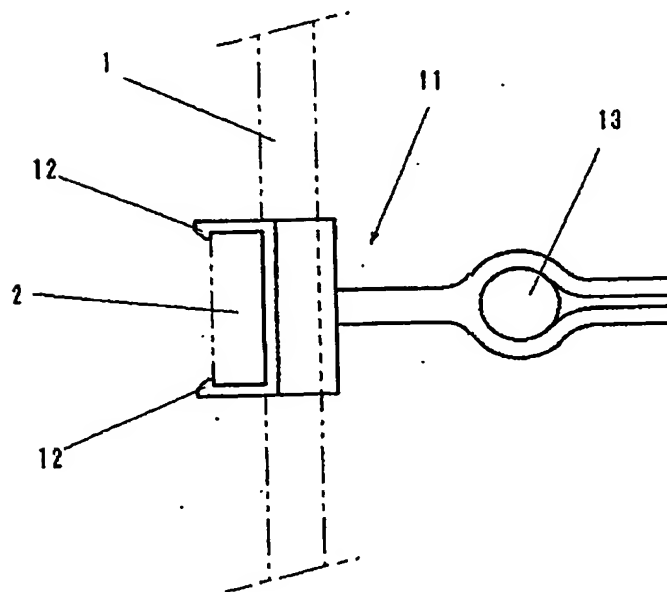
【図2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

本出願は、本人出願人による特願 2 0 0 2 - 1 7 9 1 9 1 「支持板を有する携帯用書見器」の用途拡大に関する関連出願である。

【構成】

書見台 1 とクロスする支持板 2 の側面に、連続する凹凸歯 1 0 を形成し、クロスする 4 コーナーを、凹凸歯 1 0 と噛み合う 4 本の爪 1 2 を有するホルダ 1 1 で保持する。

【選択図】 [図 3] [図 4]

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000235244]

1. 変更年月日	1990年 8月 4日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都中野区南台4-19-12
氏 名	飯塚 孝司

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.